



木場小だより

令和6年10月1日

小松市立木場小学校
校長 小山貴子

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、
心身ともにたくましい児童の育成
<http://www.hakusan.ed.jp/~kiba-e/>



TEL：0761-44-2803
FAX：0761-44-5974
kiba-e@kec.hakusan.ed.jp

運動会

9月28日は時折風の勢いが気になる日でしたが、子ども達への温かい応援をありがとうございました。「我ら木場っ子 心を一つに 最後まで挑戦しよう」のスローガンを掲げた子ども達は、私が開会式で話した「木場っ子らしさ」を十分に見せてくれました。

○応援団が中心となって作成した力強く勢いがある団旗からは、子ども達のやる気がうかがえます。

○掲示板には、全児童一人一人の運動会に向けての「挑戦」が貼りだされています。



○小学校初めての運動会となった1年生の教室からは、朝から大きな応援歌が聞こえていました。元気いっぱい運動会にける思いを黒板に書いて記念撮影をすることから運動会が始まりました。

○競技や応援の合間には下級生を思いやる上級生の姿が見られました。また丁寧に係の仕事をしている姿もありました。運動会が順調に進んだのは、陰で頑張る人がいてくれ

たからこそです。

○歯を食いしばって走る姿、はち切れんばかりの笑顔で踊る姿、勝負の結果を聞いて漏れる言葉・・・全てが「素直で一生懸命な木場っ子」でした。

○今年の児童会種目は、異学年の3人が入ったフープをつなぐリレーでした。リーダーが先頭になって引っ張る、逆にリーダーが最後尾になってスピードをコントロールする等、それぞれのチームに作戦がありました。アンカーがつけていた「キバシカビブス」は、「小中学生サミット」の予算で新調しました。今後全校での縦割り活動で使っていきます。



解団式

ご家族の皆さんに後片付けをしていただいている間に、子ども達はそれぞれの教室で運動会の振り返りを行い、解団式を行いました。

解団式では、応援団を始め各々自分が頑張った

ことや6年生の姿から学んだことを発表しました。さらに5年生が中心となって作った6年生に宛てた寄せ書きをプレゼントしました。

上級生が頑張っている姿を下級生が見る場があること、上級生の姿から学んだことを言葉で表すこと、そして上級生に対して感謝の気持ちを伝えること。ここに木場小らしさ、「木場小文化」があります。運動会に限らず、本校では様々な場面で上級生の姿から学ぶ機会があります。そんな機会をこれからも大切にしたいです。



6年生への寄せ書きより

- おうえんのおどりをおしえてくれたり、大きなこえでみんなをひっぱってくれたりしてありがとうございます。ならびじゅんぱんがずれているときにならばせてくれてありがとうございます。(1年生)
- おうえんのダンスを教えてくれる時、わたしが右か左かわからなくなった時に、わたしと同じ向きでおどってくれたのがうれしかったです。(2年生)
- 応援の時に元気におどりのお手本をみせてくれたり、やさしくふりつけを教えてくれたりしてありがとうございました。(3年生)
- 高学年練習で「アイドル」を踊ってくれたのがかっこよかったです。ふりつけを優しく細かいところまで教えてもらいました。(4年生)
- 6年生が困っている子に声をかけて助けているのがかっこいいと思いました。全校のお手本として大きな声でわかりやすく教えていて、私も見習いたいと思いました。来年6年生になった時に、大きな声で、わかりやすく優しく教えてあげられる6年生になりたいです。(5年生)

移動美術館

県立美術館の学芸員が本物の美術品を持って学校を訪問し、解説を聞きながら作品を鑑賞する「移動美術館：どこでもミュージアム」が9月13日那谷小学校で行われ、本校の5、6年生も参加しました。「水彩画」「油絵」で使われている絵の具の違いや、版画で作られた浮世絵を社会の歴史の学習を踏まえて解説をもらったり、全方向から見る事ができる「立体作品」の鑑賞の仕方を教えてもらったりと、子ども達にとっては初めて知ることがたくさんありました。最後に各自が「お気に入りの作品」を選んで紹介しましたが、重なる作品がほとんどなく、子ども達の受け止め方の違いに感心しました。さらに、この後、改めて家族で金沢の美術館を訪れた子がいたことがとてもうれしかったです。子ども達にとっては少し縁遠いイメージの博物館・美術館ですが、芸術の秋ですので家族で芸術鑑賞をされるのもいいと思います。また、6年生は自主プランのコースに入れてみるのもいいですね。

